



児童コーナー わかば通信



～わくわくドキドキ！夏休みイベント～

企画
その1



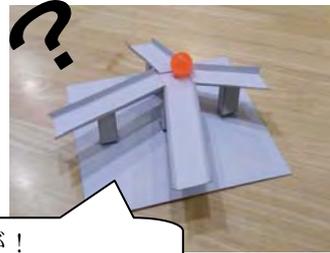
ふしぎがいっぱい～目のさっかく～

夏休み特別企画第一弾は、7月27日開催の科学イベント「ふしぎがいっぱい～目のさっかく～」。

まずは目の錯覚を実際に体験してもらい、その後、錯覚を利用した工作を作りました。低学年向けの回はソーマトロープ、高学年向けの回はエムズの部屋。みんな、楽しみながら一生懸命作りました。

今回のイベントで、多くの子どもたちが錯覚の不思議に興味をもってくれたようです。紹介した本もたくさん借りていってくれました。最後に錯覚についての解説を書いたプリントを配布してイベントは終了。夏休みの自由研究もこれでばっちり！？

うずまきを指でたどっていきと…あれ？同じ場所にもどってきた



ボールが！すべり台を登っていく！



★今回のイベントで紹介した図書

- 『錯覚の大研究』北岡明佳/監修 PHP 研究所
- 『だまされる目錯覚のマジック』竹内龍人/監修・解説 誠文堂新光社
- 『みんなで実験楽しく科学あそび7』村田道紀/文・絵 偕成社 他



ソーマトロープ作成中。みんな上手に作れたよ♪

企画
その2



タぐれどきのこわ～いおはなし会



夏休み特別企画第二弾は「タぐれどきのこわ～いおはなし会」です。8月11日18時、怖い話が大好きな子どもたちが大勢集まりました。

図書館の奥、うす暗い廊下を通過して、廃校の教室をイメージした会場へご案内。映像や音響の効果も使い、怖い雰囲気が盛り上がったところで、ストーリーテリングと紙芝居を。そしてスタッフの怖い体験を語った後でろうそくを吹き消すと…おばけ登場！最後は全員で「おばけなんてないさ」を大合唱してイベントをしめくりました。

怖がらせるだけではなく明るく終わったことで子どもたちもほっとした様子。口々に「おもしろかった！」と言って、怖い本も借りて帰ってくれました。夏の夜を涼しくするおはなし会は今年も大盛況でした。



宮沢賢治の等身大パネル。暗がりにひっそりとたたずんで、みんなを驚かせました。

★今回のプログラム

- ・黄色いリボン(『語られると怖い話』赤木かん子/編 ポプラ社)
- ・かたきをうったきつね(『おばけばなしよみかかせ絵本』千葉幹夫/編著 成美堂出版)
- ・いったんもめん(かみしばい 古山広子/脚本 石倉欣二/画 童心社)
- ・死んだ妻が悪霊となる話(『語られると怖い話』赤木かん子/編 ポプラ社) 他